

「白桃ロック」歌詞

退屈な EVERY DAY
覚醒め(めざめ)を誓う EVERY NIGHT
待っているだけじゃ変わらない
傷だらけの身に 降る雨の冷たさは
優しさの在り処 探る様

滴るほど甘く 見とれるほど白く
蕩けるほど柔く されど固い信念
美しさの中で くすぶってる愛に
もう一度火をつけろ
Hey, Let's Dance!!

熱い体 とめどなく溢れる声
踊れや 燃え尽きるまで
遙か彼方浮かぶ太陽が
照らした僕らの未来

ここはイツワリの桃源郷
そびえる壁ぶち破れ
君にこの声が届くまでは
立ち止まらない

(間奏 A)

貫けよ EVERY WAY
全力で舞う EVERY TIME
誘いのメロディ 聴こえる?

痺れるほど甘く 恋するほど白く
弾けるほど柔く されど 意志は磐石
美しさの中で くすぶってる夢に
何度でも火をつけろ
Hey, Let's Shout!!

熱い願い 天啓を受けし者よ
踊れや 燃え尽きるまで
刻む鼓動が呼ぶ太陽が
照らした僕らの未来

あれはホンモノの桃源郷
目指すはそう晴れの国
君にこの声が届くまでは
歩みを止めない

(間奏 B)

滴るほど甘く 見とれるほど白く
蕩けるほど柔く されど固い信念
美しさの中で くすぶってる愛に
もう一度火をつけろ
Hey, Let's Dance!!

歌え 踊れ 革命の鐘を鳴らせ
大きな実を結ぶまで
夢は強く信じれば叶う
諦めないで

さあ踊れ 翼を持たぬ天使よ
いつしか笑顔の花を咲かせ
大切なモノを守れ
悩んでる暇なんてない

行こうホンモノの桃源郷
目指すはそう晴れの国
いつかこの夢が叶うまでは
振り返らない

「白桃ロック」踊り方

白桃ロックは、音楽に合わせて手拍子、歩く、走るなどシンプルな動作によって構成され、仲間とのコミュニケーションをとりながら、踊るように作られています。

セクションAとセクションBは繰り返し出てきます。

セクションAは「サビ」と呼ばれる踊りの定型セクションです。

セクションBは「5本の足型(次ページ参照)」を採り入れて自由に工夫できるセクションです。

このリーフレットには最小限の情報を載せています。DVDのダンス映像を参考にして身体を動かして、覚えて下さい。また、音のリズムに「合わせて」正しく踊ろうとするのではなく、音のリズムに「乗って」、たとえ動作を間違えたとしても間違えたこと自体を楽しめるような雰囲気を重視し、「ノリ」を大切に踊って下さい。

セクションA(サビ)の振り付け

*下の歌詞は最初のサビのみ例示しています。

♪ 滴るほど



両手を前面に置く

♪ 甘く



首を左右に振る

♪ 見とれるほど白〜



左に向きながら
上半身をなぞる

く



右を向いてポーズ

♪ 蕩けるほど柔く
されど固い



胸を一周まわす

♪ 信〜



ダウン

念



アップ

♪ 美しさの中で
くすぶって愛に



左手を腰に、
右手を前に出してから
1本ずつ指を開じる

♪ もう一度
火をつける



身をかがめる

♪ Hey, Let's



両腕をクロスする

〜 Dance!!



小さくなって



ジャンプする

セクションB(5本の足型)について

このダンスプログラムでは、リズム系ダンスで重視する「全身で弾むこと」を具体的に学習できるよう、「5本の足型」という基本的な LOD* の理論を用います。

LODでは「踏切と着地の組み合わせによって、人間の弾み方(跳び方)は全部で5つ(下記表)」と考えており、この5つの足型を様々に組み合わせることによって全身で弾むダンスが簡単に構成できるようになります。

「白桃ロック」では、セクションBが3つあります。このセクションBで5本の足型を使います。DVDのダンス映像において、セクションBの3回目をどのように踊るのか、5本の足型の組み合わせ方を説明しています。

*LODとは：人間のからだの動きを、動詞や名詞などの文法をもつ言語ととらえて記号化し、分類・体系化した理論。

	5本の足型	足の動き
1		両足踏み切り、両足着地
		2 → 2 Two to Two
2		両足踏み切り、片足(左or右)着地
		2 → 1 Two to One
3		片足(左or右)踏み切り、両足着地
		1 → 2 One to Two
4		片足(左or右)踏み切り、同じ片足着地
		1 → 1 One to One
5		片足(左or右)踏み切り、反対の片足着地
		1 → 1 One to the Other

(Language of Dance, LODより)

間奏A・Bについて

間奏A： パートナーチェンジ

間奏B： 走る、跳ぶ、転がるなどのシンプルな動作を用いて、空間・場を変化させます。エネルギーを出し切って行うように指導して下さい。